

| コード         | 名称                | 区分         | コード | 名称                |
|-------------|-------------------|------------|-----|-------------------|
| 事業名         | 967 老人福祉一般経費      | 会計         | 01  | 一般会計              |
|             |                   | 款          | 03  | 民生費               |
|             |                   | 項          | 02  | 老人福祉費             |
| 基本施策        | 06 高齢者の健やかな生活を支える | 目          | 01  | 老人福祉総務費           |
|             |                   | 細目         | 203 | 老人福祉一般事業          |
| 行革大綱の重点事項番号 |                   | 細々目        | 01  | 老人福祉一般経費          |
| 担当部課        | コード               | 603000     |     | 担当者氏名             |
|             | 名称                | 島ヶ原支所住民福祉課 |     |                   |
|             |                   | 前出         | 公子  | 連絡先               |
|             |                   |            |     | 59 - 2163 (内線) 34 |

### 事務事業の概要 (Plan)

|           |   |       |
|-----------|---|-------|
| 対象(誰を、何を) | 在宅の要介護高齢者とその家族  | ※対象件数 |
| 成果(どうする)  | 高齢者が住みなれた地域で、生き生きとした生活を送ることが出来る。  |       |
| 根拠法令・要綱等  | 伊賀市地域福祉計画 伊賀市地域ケア会議設置要綱   |       |
| 開始年度      | 平成 16 年度  | 関連事業  |
| 終了年度      | 平成 年度   |       |
| H21 事業内容  | 高齢者在宅生活支援サービス(介護用品給付・外出通院支援サービス等)の申請受付事務<br>地域ケア会議の開催(事例検討を通じて情報を共有し、課題解決に取り組み、保健、医療、福祉の分野から適切なサービスを提供する。)その他老人福祉に関する一般事務 |       |
| 社会情勢の変化等  | 市民からの健康・福祉・医療に関する相談や必要な支援について、総合的かつ専門的に対応するため、ふくし相談支援センターを開設し常勤の社会福祉士を配置した。(社協に委託)  |       |

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

|              |    |
|--------------|----|
| 1 建設用地       |    |
| 2 建設面積(延床面積) |    |
| 3 規模・構造      |    |
| 4 総事業費       | 千円 |

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

|           |    |
|-----------|----|
| 1 運営主体    |    |
| 委託先       |    |
| 2 配置人員    | 人  |
| 3 年間運営費   | 千円 |
| 4 市内の類似施設 |    |

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動指標 | 指標名 | 単位 | 実績値       |     | 目標値            |                |
|------|-----|----|-----------|-----|----------------|----------------|
|      |     |    | H20       | H21 | H22            | H23            |
|      |     |    | 地域ケア会議開催数 | 回   | 目標 10<br>実績 12 | 目標 10<br>実績 11 |

| 成果指標 | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値       |              | 目標値 |                |
|------|-----|----------|----|-----------|--------------|-----|----------------|
|      |     |          |    | H20       | H21          | H22 | H23            |
|      |     |          |    | 地域ケア会議開催数 | 地域ケア会議の年間開催数 | 回   | 目標 10<br>実績 12 |

| 投入コスト        | H20 決算 |       | H21 決算 |       | H22 当初予算 |       | H23 当初要求 |  |
|--------------|--------|-------|--------|-------|----------|-------|----------|--|
|              | (千円)   | (千円)  | (千円)   | (千円)  | (千円)     | (千円)  | (千円)     |  |
| 直接事業費計(A)    | 5      | 28    |        | 30    |          | 30    |          |  |
| Aの財源内訳       | 国庫支出金  |       |        |       |          |       |          |  |
|              | 県支出金   |       |        |       |          |       |          |  |
|              | 地方債    |       |        |       |          |       |          |  |
|              | その他    | 0     | 0      |       |          |       |          |  |
| 一般財源         | 5      | 28    |        | 30    |          | 30    |          |  |
| 事業投入人件費(B)   | 0.3人   | 2,160 | 0.3人   | 2,160 | 0.3人     | 2,160 | 0.3人     |  |
| フルコスト(A)+(B) | 2,165  | 2,188 |        | 2,190 |          | 2,190 |          |  |

### 事務事業の評価 (Check)

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください)              |   | 備考欄(特記事項)           |
|------------------------------------|---|---------------------|
| 必要性                                | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業  |                     |
|                                    | 個人(法人)だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業   | ○                   |
|                                    | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業  |                     |
|                                    | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業   |                     |
|                                    | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業   |                     |
|                                    | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業   |                     |
|                                    | 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業   |                     |
|                                    | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業   |                     |
|                                    | 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業   |                     |
|                                    | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業  |                     |
| 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業      |   |                     |
| 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】  |   |                     |
| 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 |   |                     |
| 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】              |   |                     |
| 有効性                                | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。<br>基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高<br>サービス水準や対象を見直す余地がある。   | ○                   |
| 達成度                                | 当初設定した計画を <b>100%</b> 実施している。<br>予算の繰越の有無 <b>無</b><br>【予算の繰越がある場合、繰越の種別】  | 【計画が遅れが生じている場合、改善策】 |
| 効率性                                | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。<br>基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。<br>【事業名】<br>受益者負担を求めることができる事業である。<br>全体コストにおける負担構成は適正である。<br>コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。 |                     |

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

|          |  |
|----------|--|
| 改善策      | 民生委員・児童委員、ケアマネージャとの連携を深め、問題を解決しながら適切なサービスの提供に努める。  |
| 昨年度の取組状況 | 【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b><br>【詳細】<br>島ヶ原地域ケア会議を開催し、民生委員・児童委員、ケアマネージャとの連携を深め、問題を解決しながら適切なサービスの提供に努めた。伊賀市地域ケア会議全体会に参加し活性化を図った。 |

### 今後の方向性 (Action)

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 担当課長氏名                       | 川口 正仁  |
| 事業の方向性                       | 【方向性】 <b>現状維持</b><br>【理由】<br>高齢者に対する生活支援は必要であり、会議を通じ事例検討や情報共有を図りながら、課題解決に取り組む必要がある。  |
| 現時点における課題、その他                | 地域ケア会議が事例検討や報告等形式的なものになっている。   |
| 課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする) | 今後地域ケア会議における議題は、事前に一定の様式(検討課題や問題点、医療・障害・経済状況、援助・かかわりの経過等記載)にて資料を作成し、検討課題や問題点等明確化を図る。 |